

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月7日
【四半期会計期間】	第68期第2四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)
【会社名】	株式会社ミツバ
【英訳名】	MITSUBA Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 阿久戸 庸夫
【本店の所在の場所】	群馬県桐生市広沢町一丁目2681番地
【電話番号】	(0277)52-0111(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 武 信幸
【最寄りの連絡場所】	群馬県桐生市広沢町一丁目2681番地
【電話番号】	(0277)52-0111(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 武 信幸
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第67期 第2四半期連結 累計期間	第68期 第2四半期連結 累計期間	第67期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(百万円)	98,046	115,097	207,803
経常利益(百万円)	2,340	4,270	7,266
四半期(当期)純利益(百万円)	187	1,519	2,917
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	270	162	307
純資産額(百万円)	40,647	40,293	41,176
総資産額(百万円)	175,494	189,720	194,165
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	4.19	33.93	65.12
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	18.47	17.12	17.47
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	2,293	5,450	11,200
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	6,478	8,663	14,866
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	4,443	114	14,006
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	22,831	28,834	31,897

回次	第67期 第2四半期連結 会計期間	第68期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	10.57	8.79

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要やエコカー補助金等の効果により回復したものの、長引く円高による影響などにより依然として先行きは不透明な状況が続きました。また、世界経済は、米国で失業率低下や個人消費の伸び拡大などの要因により緩やかな景気回復が続きました。しかし、欧州債務問題に伴う新興国通貨安や中国での景気減速基調により、取り巻く環境は依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループの連結売上高は115,097百万円（前年同期比17.4%増加）、連結営業利益は5,041百万円（前年同期比131.5%増加）、連結経常利益は4,270百万円（前年同期比82.5%増加）、法人税等と少数株主利益を控除し、四半期純利益は1,519百万円（前年同期比708.8%増加）となりました。

セグメント情報は次のとおりです。

輸送用機器関連事業の売上高は110,367百万円（前年同期比18.0%増加）となり、セグメント利益は4,803百万円（前年同期比120.6%増加）となりました。

情報サービス事業の売上高は4,356百万円（前年同期比5.0%増加）となり、セグメント利益は97百万円（前年同期は105百万円のセグメント損失）となりました。

その他事業は、売上高は1,396百万円（前年同期比7.7%増加）、セグメント利益は125百万円（前年同期比41.6%増加）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3,062百万円減少し28,834百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、5,450百万円（前年同期は2,293百万円）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益3,666百万円と減価償却費5,333百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、8,663百万円（前年同期は6,478百万円）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出8,564百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で得られた資金は、114百万円（前年同期は4,443百万円）となりました。この主な要因は、長期借入による収入5,272百万円です。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、176百万円であります。
なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	150,000,000
計	150,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月7日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	45,581,809	45,581,809	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 1,000株
計	45,581,809	45,581,809	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高 (百万円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	45,581,809	-	9,885	-	16,597

(6)【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(株)横浜銀行 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行(株))	神奈川県横浜市西区みなとみらい三丁目1 番1号 (東京都中央区晴海一丁目8番12号晴海ア 일랜드トリトンスクエアオフィスタワー Z棟)	2,199	4.82
ミツバ取引先企業持株会	群馬県桐生市広沢町一丁目2681番地	1,944	4.26
日産自動車(株)	神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地	1,742	3.82
日立オートモティブシステムズ(株)	東京都千代田区大手町二丁目2 1新大手 町ビル	1,689	3.70
本田技研工業(株)	東京都港区南青山二丁目1番1号	1,662	3.64
日本トラスティ・サービス信託銀 行(株)(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	1,613	3.53
(有)サンフィールド・インダスト リー	群馬県桐生市巴町二丁目1890番地18	1,550	3.40
セコム損害保険(株)	東京都千代田区平河町二丁目6番2号	1,343	2.94
第一生命保険(株) (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行(株))	東京都千代田区有楽町一丁目13番1号 (東京都中央区晴海一丁目8番12号晴海ア 일랜드トリトンスクエアオフィスタワー Z棟)	1,296	2.84
三菱UFJ信託銀行(株) (常任代理人 日本マスタートラ スト信託銀行(株))	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 (東京都港区浜松町二丁目11番3号)	1,038	2.27
計	-	16,079	35.28

(注) 上記日本トラスティ・サービス信託銀行(株)の所有株式数は、全て信託業務に係る株式数であります。

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 911,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 43,982,000	43,982	-
単元未満株式	普通株式 688,809	-	-
発行済株式総数	45,581,809	-	-
総株主の議決権	-	43,982	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、(株)証券保管振替機構名義の株式が17,000株含まれております。また、「議決権の数(個)」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数17個が含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(株)ミツバ	群馬県桐生市広沢町一丁目2681番地	786,000	-	786,000	1.72
(株)落合製作所	群馬県富岡市宇田250-11	125,000	-	125,000	0.27
計	-	911,000	-	911,000	2.00

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新宿監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,099	30,034
受取手形及び売掛金	41,500	41,470
有価証券	499	304
商品及び製品	8,501	8,349
仕掛品	4,177	3,816
原材料及び貯蔵品	12,953	12,483
繰延税金資産	882	923
その他	13,555	12,522
貸倒引当金	163	121
流動資産合計	115,006	109,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,934	51,554
減価償却累計額	35,139	35,810
建物及び構築物(純額)	15,794	15,743
機械装置及び運搬具	93,837	96,809
減価償却累計額	75,162	76,205
機械装置及び運搬具(純額)	18,674	20,604
工具、器具及び備品	42,325	43,052
減価償却累計額	40,094	40,375
工具、器具及び備品(純額)	2,231	2,676
土地	5,483	6,098
リース資産	2,900	2,961
減価償却累計額	1,255	1,310
リース資産(純額)	1,644	1,650
建設仮勘定	4,140	5,971
有形固定資産合計	47,969	52,745
無形固定資産	2,400	2,343
投資その他の資産		
投資有価証券	19,555	15,366
長期貸付金	538	882
繰延税金資産	700	731
長期前払費用	6,706	6,322
その他	1,341	1,598
貸倒引当金	53	53
投資その他の資産合計	28,787	24,847
固定資産合計	79,158	79,937
資産合計	194,165	189,720

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,051	20,337
短期借入金	59,729	64,098
1年内償還予定の社債	160	160
未払金及び未払費用	18,646	18,916
未払法人税等	727	769
賞与引当金	2,920	3,208
製品保証引当金	1,729	797
その他の引当金	336	307
その他	3,250	3,468
流動負債合計	111,551	112,062
固定負債		
社債	372	292
長期借入金	34,425	31,327
繰延税金負債	4,214	3,396
引当金	680	747
その他	1,744	1,601
固定負債合計	41,437	37,363
負債合計	152,988	149,426
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,885	9,885
資本剰余金	15,718	15,718
利益剰余金	16,253	17,095
自己株式	546	547
株主資本合計	41,310	42,151
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,996	2,502
為替換算調整勘定	11,387	12,180
その他の包括利益累計額合計	7,391	9,677
少数株主持分	7,257	7,819
純資産合計	41,176	40,293
負債純資産合計	194,165	189,720

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	98,046	115,097
売上原価	86,490	100,083
売上総利益	11,556	15,013
販売費及び一般管理費	9,378	9,971
営業利益	2,177	5,041
営業外収益		
受取利息	149	127
受取配当金	296	187
持分法による投資利益	382	396
その他	687	535
営業外収益合計	1,515	1,246
営業外費用		
支払利息	562	661
為替差損	432	968
その他	357	388
営業外費用合計	1,353	2,018
経常利益	2,340	4,270
特別利益		
固定資産売却益	36	159
製品保証引当金戻入額	113	-
その他	156	154
負ののれん発生益	-	182
特別利益合計	306	495
特別損失		
固定資産除却損	46	58
投資有価証券評価損	78	157
製品保証引当金繰入額	-	228
取引調査関連損失	-	375
その他	276	278
特別損失合計	401	1,100
税金等調整前四半期純利益	2,244	3,666
法人税等	1,438	1,417
少数株主損益調整前四半期純利益	806	2,248
少数株主利益	618	728
四半期純利益	187	1,519

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	806	2,248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,221	1,512
為替換算調整勘定	737	585
持分法適用会社に対する持分相当額	51	11
その他の包括利益合計	536	2,086
四半期包括利益	270	162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	438	766
少数株主に係る四半期包括利益	708	928

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,244	3,666
減価償却費	5,372	5,333
貸倒引当金の増減額(は減少)	3	7
受取利息及び受取配当金	445	314
支払利息	562	661
持分法による投資損益(は益)	382	396
有形固定資産売却損益(は益)	28	156
売上債権の増減額(は増加)	1,837	526
たな卸資産の増減額(は増加)	1,152	1,324
仕入債務の増減額(は減少)	2,617	4,411
その他	2,993	932
小計	3,953	7,172
利息及び配当金の受取額	402	330
利息の支払額	584	659
法人税等の支払額	1,478	1,392
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,293	5,450
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	258	200
有形固定資産の取得による支出	4,926	8,564
有形固定資産の売却による収入	209	818
投資有価証券の取得による支出	486	188
投資有価証券の売却による収入	164	4
貸付けによる支出	1,824	1,373
貸付金の回収による収入	953	649
その他	826	210
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,478	8,663
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	5,506	1,968
長期借入れによる収入	7,474	5,272
長期借入金の返済による支出	7,340	5,960
社債の償還による支出	24	80
配当金の支払額	268	313
少数株主への配当金の支払額	332	182
その他	571	589
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,443	114
現金及び現金同等物に係る換算差額	267	123
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	524	3,222
現金及び現金同等物の期首残高	22,523	31,897
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	159
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	216	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,831	28,834

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、パルテス・デ・プレシオン・ミツバ・デ・メヒコ・エス・エー・デ・シー・ブイ及び、ピーティエー・ジデコ・インドネシアは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ36百万円増加しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【追加情報】

当社は、自動車用スタータ及び自動車用ワイパシステムの取引について、共同して、受注予定者を決定し、受注予定者が受注できるようにしている疑いがある、また、販売価格の維持を図っている疑いがあるとして、平成23年7月20日に公正取引委員会の立ち入り検査を受けました。

本件につきまして、平成24年9月22日に排除措置命令に係る事前通知書及び課徴金納付命令に係る事前の通知書を受領いたしました。この四半期報告書提出時点において、公正取引委員会より正式な通知書を受領していません。よって、課徴金は当四半期連結財務諸表に計上していません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

連結子会社以外の会社の、金融機関からの借入等に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
パルテス・デ・プレシオン・ミツバ・デ・メヒコ・エス・エー・デ・シー・ブイ	35百万円 (0.4百万USドル)	三葉士林電機(武漢)有限公司	26百万円 (2.1百万円)
ピーティエー・ジデコ・インドネシア	493 (6.0百万USドル)		
三葉士林電機(武漢)有限公司	68 (5.2百万円)		
計	598	計	26

上記の内、外貨建保証債務等は、決算日の為替相場により円換算しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
役員報酬・給料・賞与	2,322百万円	2,397百万円
運搬費保管料	2,268	2,881
設備費	745	698
賞与引当金繰入額	189	315
製品保証引当金繰入額	64	95
退職給付引当金繰入額	114	93

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	23,800百万円	30,034百万円
有価証券勘定	629	304
預入期間が3か月を超える定期預金	1,289	1,396
価値変動のリスクのある有価証券等	308	107
現金及び現金同等物	22,831	28,834

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月11日 取締役会	普通株式	268	6	平成23年3月31日	平成23年6月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月9日 取締役会	普通株式	313	7	平成24年3月31日	平成24年6月12日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	93,182	3,662	1,201	98,046	-	98,046
セグメント間の内部売上高又は振替高	378	485	94	959	(959)	-
計	93,560	4,148	1,296	99,005	(959)	98,046
セグメント利益(又はセグメント損失)	2,177	(105)	88	2,159	17	2,177

(注)1. セグメント利益の調整額17百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	110,027	3,782	1,287	115,097	-	115,097
セグメント間の内部売上高又は振替高	340	573	109	1,023	(1,023)	-
計	110,367	4,356	1,396	116,121	(1,023)	115,097
セグメント利益	4,803	97	125	5,026	15	5,041

(注)1. セグメント利益の調整額15百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

輸送用機器関連事業において、子会社株式の買取が行われました。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては182百万円
であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	4円19銭	33円93銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	187	1,519
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	187	1,519
普通株式の期中平均株式数(千株)	44,808	44,796

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月7日

株式会社ミツバ
取締役会 御中

新宿監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 壬生 米秋 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 末益 弘幸 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ミツバの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ミツバ及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。